

平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果 横浜市の概要

昼夜間人口比率は91.7(前回比0.2ポイント上昇) ～企業誘致施策の進捗などにより、流入人口が前回比8,565人増～

平成 27 年国勢調査（従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果）の横浜市分について概要をまとめましたので、お知らせします。

* 詳細な結果は、横浜市統計ポータルサイト

(URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/census/kokucho/h27/>) をご覧ください。

1 昼夜間人口比率

昼間人口は前回（平成 22 年）調査と比べ 1.2%増加の 3,416,060 人

昼夜間人口比率は 0.2 ポイント上昇し 91.7 に。21 大都市中、横浜市含め 5 市で上昇

昼間人口

3,416,060 人

昼夜間人口比率

平成 27 年

91.7



+0.2

平成 22 年

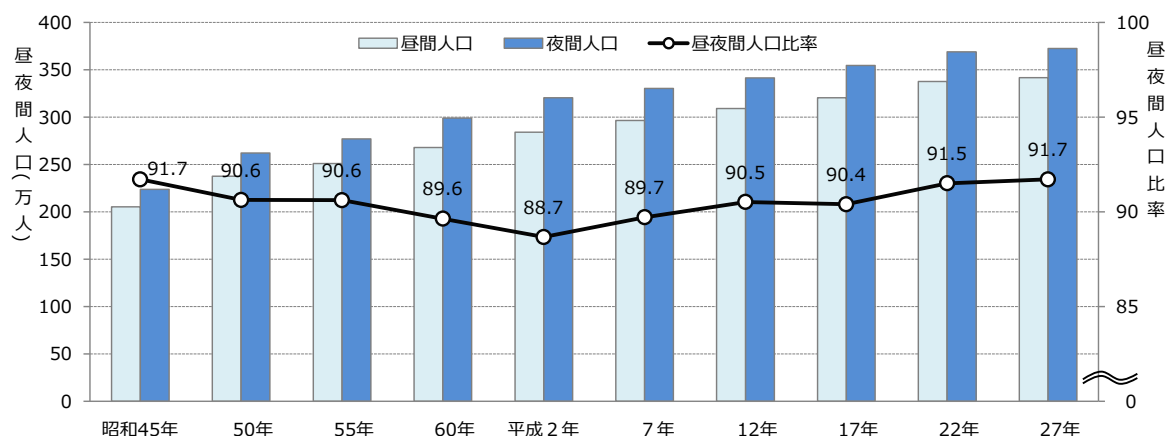
91.5

昼間人口は 3,416,060 人（前回比 40,730 人増、1.2%増）で、昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 91.7 で前回比 0.2 ポイント上昇となっています。

行政区別では、西区が昼夜間人口比率 186.0 で全国 14 位、中区が 161.2 で全国 23 位と特に高くなっています。

また、21 大都市では横浜市を含む 5 市で昼夜間人口比率が上昇となっています。

昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移(昭和 45 年～平成 27 年)



【「横浜市の概要」P 2～5、P31 参照】

2 横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者

女性 は 市内で従業する者の割合が 71.2% と高い

市内で従業・通学
する者の割合

59.5 %

市内で従業する者
の割合

男性

51.7 %

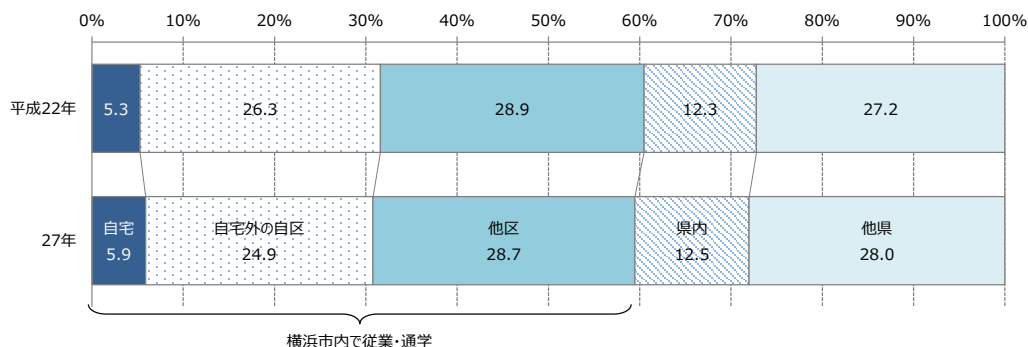
女性

71.2 %

横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者は 1,860,732 人で、このうち「市内で従業・通学」する者が 59.5% となっています。

また、15 歳以上就業者の「市内で従業」の割合は、男性の 51.7% に比べ、女性は 71.2% で、市内で働く傾向が高くなっています。

従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者の割合(平成 22 年、27 年)



【同 P 8 ~13 参照】

3 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者

市外からの通勤・通学者の割合が増加

市外から通勤・通
学する者の割合
平成 27 年

28.1 %



+1.1

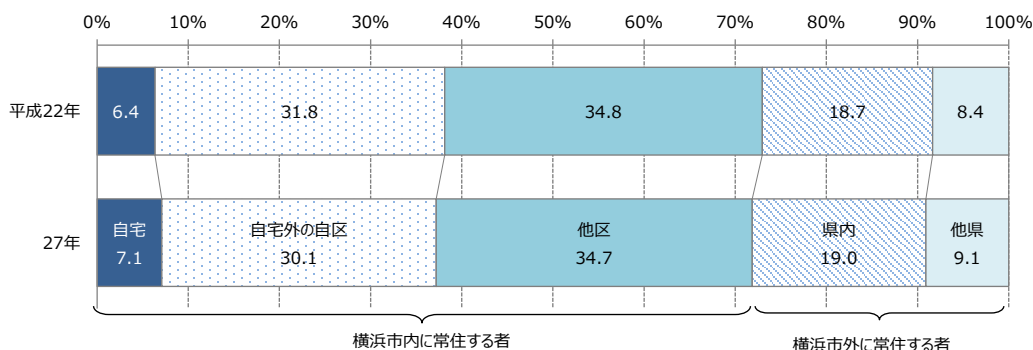
平成 22 年

27.0 %

横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者は 1,555,387 人で、このうち「市外に常住」する者の割合が前回比 1.1 ポイント上昇し、28.1% となっています。行政区別では、西区 (41.1%)、港北区 (33.5%) など「市外に常住する」従業者・通学者の割合が高くなっています。

また、15 歳以上就業者では、女性就業者の「市内に常住」の割合が高く、80.6% となっています。

常住地別 15 歳以上就業者・通学者の割合(平成 22 年、27 年)



【同 P 14 ~19 参照】

お問合せ先		
政策局統計情報課長	河西 徹	Tel 045-671-2050